近畿「子どもの水辺」交流会

近畿「子どもの水辺」交流会とは

子どもたちに身近な水辺活動を広く発信していただくもので、上下流・府県間を越えて「水辺」に関わる近畿の皆さんの交流を深め、地域ぐるみで水辺活動の継続・広がりを共につくり、水辺を守り育てることを目指しています。2007年度（平成19年度）から、大阪府、滋賀県、京都府、奈良県、兵庫県の順に毎年会場を移して開催しています。

主催は、近畿「子どもの水辺」実行委員会で、2巡目まで（平成28年度）までは水辺活動団体と行政等からなる組織でしたが、3巡目からは同実行委員会は活動団体のメンバーで組織し、行政等の協力を受けつつ実施しています。また、別途、水辺活動団体と行政等からなる近畿「子どもの水辺」交流協議会を組織し、水辺活動団体と行政等のつながりを持続し、共につくり、守り、育てる「水辺づくり」に寄与することを目的として、情報交換の場を定期的に持っています。

運営に当たって、ほぼ毎回、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

※R5年度交流協議会

水辺活動団体：16団体17名

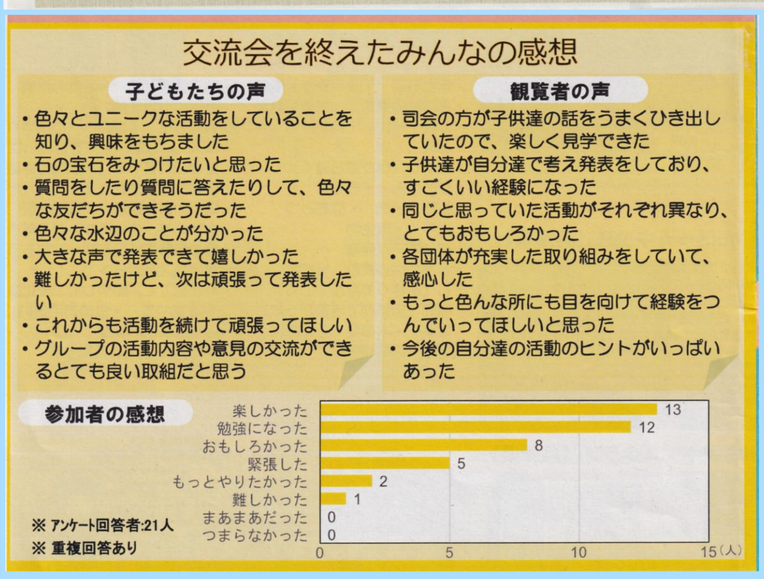
行政等：国交省近畿地方整備局、大阪府、滋賀県、京都府、奈良県、兵庫県、和歌山県、福井県、三重県、大阪市（以上、各河川担当部局）

顧問：（公財）河川財団（近畿事務所）、（一社）近畿建設協会

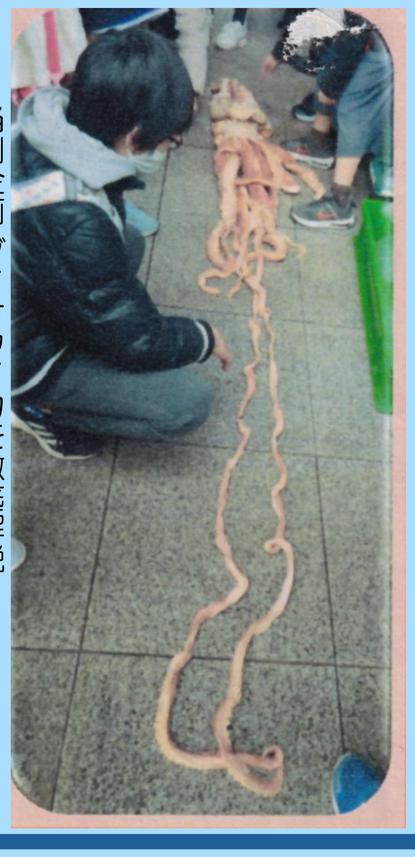
近畿「子どもの水辺」交流会実施概要

	開催年度	通算回数	開催府県	参加団体/展示団体	開催日		会場
1巡目	H19	第1回	大阪	29/7	2008.3.1	土	エル・おおさか（大阪府立労働センター）
	H20	第2回	滋賀	23/17	2009.3.1	日	大津港 ～ 琵琶湖博物館（ビアンカ、MEGUMIに乗船）
	H21	第3回	京都	33/16	2010.1.23	土	京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）
	H22	第4回	奈良	31/13	2011.1.23	日	奈良県文化会館
	H23	第5回	兵庫	26/9	2012.2.4	土	兵庫県立人と自然の博物館
2巡目	H24	第6回	大阪	30/9	2013.2.9	土	ドーンセンター（大阪府男女共同参画・青少年センター）
	H25	第7回	滋賀	25/6	2013.11.23	土	大津港 ～ 琵琶湖（ビアンカ、うみのこに乗船）
	H26	第8回	京都	29/9	2015.1.24	土	京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）
	H27	第9回	奈良	27/15	2016.1.23	土	奈良県文化会館
	H28	第10回	兵庫	27/7	2017.2.4	土	兵庫県民会館
3巡目	H29	第11回	大阪	交流会休止、子ども達の活動ポスター展示、協議会員の施設見学会			展示会場：川の駅はちけんや 安威川ダム建設現場見学
	H30	第12回	滋賀	交流会休止、子ども達の活動ポスター展示、協議会員の施設見学会			展示会場：ウォーターステーション琵琶 瀬田川洗堰・国交省琵琶湖河川事務所見学
	R1	第13回	京都	10	2020.1.25	土	八幡市文化センター
	R2		奈良（延期）	コロナにより延期			
	R3	第14回	奈良	9	2022.1.22	土	オンライン開催（中継会場：奈良公園バスターミナルレクチャーホール）
	R4	第15回	兵庫	11	2023.2.18	土	兵庫県立人と自然の博物館（オンライン併用）
4巡目	R5	第16回	大阪	12団体＋11個人	2023.8.20	日	大阪ふれあいの水辺（体験活動）PLP会館（交流会）
	R6	第17回	滋賀		計画中		琵琶湖周辺を予定しています

第15回 交流会in兵庫2022 より



当別企画 ダイオウイカを徹底解説！



第14回 交流会in奈良2021 より

第16回 交流会in大阪2023 より

子どもたちが交流会で感じたこと

○生き物観察
- ✓ クサガメが外来種とは知らなかった。
- ✓ 魚が大きかった。外来種とか、いろいろな魚が知れて面白かった。
- ✓ カワアナゴがこんなにでかくなるんだと思った。
- ✓ 大きなオオクチバスがいて、明石川ではほとんど見ないのに、初めて見て、「大阪にはこんなに外来種がいたんだな」と思った。
- ✓ カメが食中毒菌を持っているのをはじめてしりました。

○水質調査
- ✓ 薬で水がきれいか汚いかを知れることがすごかった！！
- ✓ 水道水にみそ汁を少しいれただけで、パックの色がすごく汚い反応になったことに驚きました。みそ汁は汚いものじゃないから工場排水を入れるとどうなるのでしょうか？
- ✓ みそ汁が少し入っただけで、海が汚れたり魚が住みにくくなってしまったりすることを知って、食べ残しはいけないと思った。

○Eボート乗船
- ✓ 最初は乗るのが怖かったけど、乗ってみるとすごく楽しかった。漕ぐのはすこし大変だった。
- ✓ ボートをこぐのが難しかったけど、川の魚をみれてよかった。
- ✓ あんな重そうなボートもみんなで力を合わせれば動かせた。
- ✓ Eボートが楽しかった。漕ぐのも難しかったけど頑張れたのがうれしかった。

○砂地の地形形成
- ✓ 川は降った雨があふれてどんどん流れるうちに削れて、今のようになることが分かった。
- ✓ 学校で習った川のはたらきが実際に目の前で行われていて面白かった。
- ✓ 昔はまっさらだったはずだから、水や自然の力は偉大だと思った。習ったことを実際に目にして、実験して理解が深まった。
- ✓ いつも増水した後に環境が変わっているから土砂で地形が変わっているんだなと思った。

○全体を通じて
- ✓ 近畿水辺交流会でいろいろなことが分かった。ボートの漕ぎ方、水質調査で水が汚くなること、魚がいなくなるから水辺をきれいにしよう。
- ✓ 近畿各地の他団体の活動の様子を知ることができてよかった。

大学生スタッフの感想

- ✓ 初めてのボランティアでしたが楽しかったです。簡単な魚の説明をするだけでしたが人に教えることの難しさを体感できました。また、さまざまな方々とお話しすることで自分の知識も広げることができ、とても勉強になりました。
- ✓ 初めての気づきや経験をできたのでとてもいい機会になったと思います。
- ✓ 全体的には、各地域の子どもたちが集まって意見交換や発表をしている場面がさまざまな考えや主張がとびかっていてとてもいい時間だなと思いました。